

## 小島宝素著・森立之写『河清寓記』釈読（上）

町 泉 寿 郎

### はじめに

『河清寓記』は、幕府医官小島宝素が、天保十三年（一八四二）九月から十一月にかけて、輪王寺宮の朝覲に随従して京都に滞在した折、京洛の地に所蔵されている古書を閲覧し、その書誌を記したものである。訪書先としては、福井氏崇蘭館、伊良子氏千之堂、荻野氏医聖書院、畑氏、百々氏、高階氏の京都の医家のほか、錦小路家、飛鳥井家、更に仁和寺、高山寺、青蓮院の古刹があげられる。帰途には名古屋の真福寺にも立寄っている。

現在、小島宝素の自筆本は伝わらず、宝素の年下の友人である森立之が嘉永六年七月に書写した最善本が国立国会図書館に所蔵されている。この本については、既に三木栄が著書『朝鮮医書志』において研究し、「これは京都における朝鮮古医書の存在を知り得る重要な資料である」と評価している。しかしいまだに活字化されておらず、しかも原本の大部分は行草体で筆写されているため読みづらく、甚だ利用に不便であった。

また『経籍訪古志』の渋江抽斎・森立之識の「附言」によれば、同書の成立は、狩谷掖斎に端を発し、次に小島宝素が「屢々搜討を加」えたという。しかし従来、小島宝素が具体的にいかなる関与を同書成立に關してなしたかは不明とされてきている（長沢規矩也著『経籍訪古志』考）。『河清寓記』の記述を検討すると、明らかに両書に同一の本に關する同一の記述があり、『経籍訪古志』編輯の際に『河清寓記』の記載が吸収されていることを知りうる。

更に『河清寓記』と深い関係にある資料として、日本大学医学部図書館富士川文庫所蔵の「小島宝素尺牘」（二十九枚）がある。この書簡は、天保十三年九月から十一月にかけて、左京中の宝素から多紀元堅及び渋江抽斎・伊沢柏軒に宛てられたものである。内容は、訪書の記事が大部分を占め、『河清寓記』の成立状況を詳細に伝える重要な資料である。しかし同書簡には残欠・錯雑があり、難読箇所も多い。同書簡を研究する前提として、まず『河清寓記』の釈読が必須であると考える。

『河清寓記』の書名「河清」は、いつも濁っている黄河が千年に一度澄む、という中国の故事をふまえている。つまり天保十三年の京都滞在中は、医官として江戸を離れることの難しい小島宝素にとって、また減多に扉を開かない書庫から数百年を経た稀覯本がとり出されその存在が陽の目を見るところという意味において、まさに千年に一度の好機であるという意図をもって附された書名である。

## 凡例

一、本稿は国立国会図書館所蔵の『河清寓記』を釈読し、現代活字をもって翻印したものである。

一、書中、朱筆にて注記、圈点、庵点が記されている箇所があり、小島宝素の原本にはなかったものを森立之が勘案して加えたと考えられる。本釈読では朱筆箇所傍線を施した。

一、匡郭外の頭書が数箇所あり、森立之及びその子約之の筆にかかる。本釈読では頭書箇所に(注)と記して、後に釈文を掲げた。

一、底本の書誌を示す。

(表紙) 右肩上部に「鱗介」と森立之の墨書がある。

(題簽) 「河清寓記 完」(森立之墨書) 表紙左肩貼付。

(用箋版式) 単辺(12.5×16)。有界。每半葉十一行。版心白

口、上魚尾。自一丁至四十七丁(丁付ナシ)。

(印記) 「森/氏」(二丁オ9行〜11行下部)。ほかに「帝国/図書/館蔵」印、及び「明治三四・一〇・二三・

購求」の受入印がある。

(見返) 原稿用紙五行に書かれた長井金風の識語が貼付される。左にその語を記す。

「河清寓記」一巻、本館書目、為森立之著、立之初放浪於相州、弘化五年五月遭赦再来于江戸、是書小引、壬寅則天保十三年也、立之不可奉教西上、愚按是書、係

小島質所筆録、而立之手抄之者、卷中有嘉永

癸丑立之識語、可以証之、天保壬寅、一品准后舜仁

法親王朝觀、質陪從焉、手抄仁和寺所蔵新修本

草残缺四卷而還、即是時也、

明治四十二年冬 金風長井行識

一、杏雨書屋所蔵の『河清寓記』二本(乾52、杏153)はいずれも国会図書館蔵本よりの転写本である。底本の難読箇所は杏雨本を参看したが、必ずしもこれに拠らなかつた。

一、難読文字は□とした。

一、卷末(自四十五丁オ、至四十六丁オ三行)に宋版『礼部韻略』卷末に記載されている避諱・欠筆の例を写しているが、本釈読では省略した。

翻字

河清寓記 卷第一

福井大医博士崇蘭館多儲古書、楊上善太

素亦其一也。劉教諭元胤奕棋、其弟元堅莒庭、皆能伝録秘

本。余亦曾得重鈔其一二

而為宝焉。今秋奉教西上、公暇相訪、得交臂於一堂之上。

弁論方藥、兼縱覽其所儲

皇国古卷及宋元之刊本。可不謂幸哉。亡友狩谷望之謂牙籤

万軸、富踰鄴架、真不

誣也。壬寅九月廿八日記。

宋槧小字楊氏家藏方雜門本 吉氏家藏ノ印アリ

序八行十六字 阮仲猷刊于種徳堂 自序後

(注1) 本文十四行廿一字此本楓山ニモアリ元板トシテアリ

有缺、据荻野本補写、為完本。

宋槧全要方論

香字抄 高山寺 卷本

初行沢蘭

諸州

卷末沢蘭大和国拾五行

警

末永万二年九月九日丹波抄五卷之内也

高野山より出候内、保井田繆助二行得  
精英本草遺詠薬名製使序

古活民子自序

已上葉數百九十一種欵 靈竜  
永類鈴方 井上広丹院ヨリ出ル本ナリ

元末明初本、余曩觀之書估英遵店、議價未就

遂帰崇蘭之藏、至今有遺憾焉

竹坪書堂	
寒方有雜病方	明浮沈遲數之脈理
永類鈴方	証表実虚実之病因

錫類鈴方序 十二行

北宋本二李唱集 李至 李昉 見存廿葉

十二行廿字 主人以新刊若干張為贈、写刻俱善、可喜賞耳

宋槧聖恵方 第九第十七補写

甲斐国中秋原法性(正カ寺ヨリ出ル本ニテ、多紀本ト同シ)

四十三、四十四、八十二、九十一、九十二 金沢本

古鈔本新編医方集成 五至十 三冊

元版新刊広成先生玉函経并序 一冊

元版類編図経集註衍義本草 恵昌本  
黎民寿ノ注アル本ナリ 易簡方ニ附刻ス 多紀  
二写アリ。○程雲宋ノ本ハ金匱直解ト附刻セリ

与聿修堂本同刊

太素第廿七 古卷本

丹波頼基書本 此一卷影刻已成タリ

大徳十年刊本風科集驗方 五冊

2オ

1ウ

版式与大徳重刊聖濟總録正同  
序目 五 六 十 廿七

永楽刊本加減十三方 一冊  
素問宋本

旧蔵覆宋本素問第一缺、此本止第一卷耳、板式与朱墨句様、  
又恰相似、宜相儷併蔵、以為完帙也、  
(注2) 旧蔵本今帰于清川玄道、

一 八 都保

宋本爾雅 光源院 印アリ

懽堂重刊原本、紙質似荀子蜀本

南宋本周易注疏 十行本 疑是建安余仁中本

一、二、三四 五六 未缺 四冊 礼川

宋本外台卷十二 一冊

紅葉山金沢本ト同版低質、三十八卷一巻辨寿館ニアリ

幼々新書零本ニ似タリ、共ニ巻首ニ 神願 朱ノ印アリ

宋本類要図注本草序例 一冊

古鈔和名類聚抄十卷 二冊

椋老所称京本ナリ

元版千金方卷四 一冊

明初刊本類編南北經驗医方大成 十卷

明版夷堅志

嘉靖癸未陳鳳梧重刊成化本政和本草 松谷軒題字アリ

又 正徳己卯劉氏日新堂木記

2ウ

3オ

3ウ

朝鮮本医説 一冊 此本多紀ニアリ  
嘉靖三十九年八月日

内賜行司直柳之蕃医説一件

命除謝

恩 都承旨臣李商

又 続医説

宋本新彫夷堅志 十五行廿字 合六冊

妙覚寺日奥本

初集 一之五 妙覚寺 常 住日奥朱印

乙集 一之五 岡田屋ニアリシ小野節家蔵本ノ粗本

丙集 一之五 ナルベシ

仿宋本察病指南 与拙蔵本相似而小異

淳祐丙午趙崇質序

>> 乙卯趙方諮序

何大任本脈経 一二不足 与養安院蔵本同

黎居士簡易方 宋本 二種ノ宋本ヲ併合セルナリ

序目完 新刊二字ナシ 一 補写 別本ニテ新刊ノ二字アリ

二 完 新刊二字ナシ 三四 完

五六七八九 完 十 完

十一 新刊 古補写

安老懷幼書 四冊 弘治庚戌刊本 吉氏家蔵

保幼大全 不漫刊本

秘伝眼科竜木総論 十行廿一字 (注3)

4ウ

4オ

4ウ

卷中末 隆慶改元陝西布教司刊

都事邵武丘鳴鶴校

甘州左衛右所正千戶宋宝同校

嘉靖癸卯夏四月朔王華山人盛端明書本

活幼口議二十卷

盛端明ハ明史侯幸伝ニ出ツ ○熊宗立ノ惡本一巻多紀ニ  
アリ 元板ノ写本ナリ ○医方類聚採輯本モアリ ○人  
見本写本全本 又伊良子ニ嘉靖板アリ 別本ナリ 又高  
科ニ清人写本アリ人見本ト同シ

救急易方 吳郡趙季敷編集

正統六年十二月浚儀趙忠序

天順六年壬午仲夏月二十有四日広平馬題書於蜀

藩忠愛堂

何柏齋文集十卷

卷十

医学管見二十二章

字訓 粘葉殘本

三宝類字集 卷上

日本往生極樂記

朝散大夫行著作郎慶保胤撰

三教指帰注卷下 宝輪院

正中二年五月廿日於高野山悉地院一校了

同六月一日重校

金剛佛子印亥生年  
世八

淨藏法師伝 東院

寛喜三年宗蓮書本

華嚴一乗教分記

弘長三年五月十一日於西山高山寺

方便和田院 沙門良真

統易簡方後集 荻野藏本アリト云フ

三因方 伊良子

本事方

宋槧外台 荻野典葉

総病論刊本 同

嘉靖本儒門事親 同

玉篇第廿七 糸索

和氣広世真蹟莊子郭注 有缺

論語集解

史記本紀

医聖書院藏本

本草衍義 二十卷 宋本 審是元板欵

序八行十六字

重刊巢氏諸病源候總論 元板 五十卷四冊

十三行廿三字 烏絲外標題

又 汪濟川方鑰本 淺草文庫

又 吳勉学師古本

又 清人重鈔汪濟川方鑰本 五十卷十冊

楞雜集 丹波家藏印 廿一冊

5ウ

5オ

6ウ

6オ

傷寒総病論 六卷

清人影宋鈔本 九行十九字

胎産要録 上下卷

庶物類纂拔萃 三十三卷

増補拔萃 上中下

右係于西湖所拔萃

鈔本活幼便覧 正徳庚午鄭鵬題

正徳五年吳漳書

自叙 正徳五年孟春下澣新可劉錫書

高氏日新堂局方

卷之十 上池法印

宮森宗三石門□

元龜三年九月十一日

高階真人經宣朝臣正四位下字子順通稱清介

子經由字子蕃号

(注4) 初虞世古今録驗 君翼曾觀於医学院宋本版式似医書大全

素靈微蘊 四卷 昌邑黄元御坤載著

道光十年刊本

素問釈義十卷 道光九年十月陽湖張琦

令集解 弘長二年閏七月廿日皇后宮大夫藤原

本云建長三年 吏部秀賢

寛永 万治

村家救急方一卷 朝鮮本

嘉靖戊戌夏六月聞詔金正国々弼識

隆慶六年壬申八月列署

金匱論注 康熙刊本

風科本草 典葉寮印アリ

小森典葉藏歿 小森典葉頭丹波頼之嗣藏人頼永

大垣北尾春圃 号当壯庵、享保中有桑韓医談

○古今録驗五十卷 ○明堂十二卷 ○大素世卷

○竜樹眼論二卷 俱卷子本

卷第二

律古本□家 大館佐郎

医心方卷廿二 丹波康頼真跡

濟民記 道三 ○錦小路殿

衛生秘要 正応年

薰譜類集 寂蓮筆 二卷

桑名所藏

以下拇尾高山寺藏

卷本史記周本紀 索隠

般本紀

般本紀第三 史記三

高山寺本

古卷本莊子郭注 和弘世 十五本

医学院藏書

高野大師・心経 住寺本

又 殿跡

佛説国王経 理源大師 書法極肖聖武宸翰

7ウ

7オ

8ウ

8オ

高野大師草書三張 弘決輔行記款  
古今集一帖

応

貞享二年七月廿二日癸亥戸部尚書藤

此古今奉附属良守上入了

文和二年三月十八日

西方行者頌阿

東福寺正徹 新古今和歌集

和歌口伝 源俊頼朝臣撰為家卿

いせ物語一帖

つれく草 古写二帖大永比

新古今和歌集第四一卷 兼好法師真跡

寛平御時后宮歌合 二卷

荒木素平筆

古今和歌集第五

仁和寺尊海僧正筆

鳥山巽甫朗詠詩哥

滄浪詩卷 明代人款

瀟湘八景詩歌 飛鳥井雅草卿

更衣 和哥之抄 淨弁

源語系図 後二条院宸翰

古今和歌集第八 大秦頭昭抄

文治元年十一月十七日古今一部依 梁園因教命

勘注畢、大略釈奥義外哥、先是宰相入道法名觀蓮  
被注献 賜件本 加披闕 糺邪正、仍多引載  
彼抄而已

重賜全部差声 顯昭

新古今第十七 北小路殿俊孝朝臣

衣服事一卷 伏見院宸翰 消息うら

浙西六家詩序 曉村

連歌新式 昌叱筆

中院通村卿筆撰集卷頭和歌一卷

○素庵行草中飛白尤妙有題

唐朝四賢精詩一卷 皇朝覆宋本

李杜韓柳

古写しくれ物語

幼々名方東山老民序 十卷二冊

小兒病証方論 鄭全序宝祐甲寅

惠卿謹咨目錄後二

題目編集諸家嬰兒病証活幼方論卷之一

救急易方 広西府江兵巡道重刊

古写活人心抄正徳本

証治要訣与通行本同 念西居士草書序

大—— 新安県令王廷錢重刻

漆—— 藩司幕士毛雲翼重校

翰—— 粵東医官樓守諒全閱

9ウ

9オ

10ウ

10オ

寿親養老書四卷 元末明初本  
万寿丹書校補篇三卷

名醫別錄三卷 明人作者手写本 現五冊

曹一朱 殷潔白

弘治本傷寒蘊要

許培元診翼

食天本草 張景岳 鈔本一冊 元五十一卷廿五冊  
寬延己巳平安福朱蘭

心醫集 祝登元 一冊鈔本

精撰方 見一冊古写 表紙二共十七冊

三重韻 享保庚子刻梓 日陽真幸院

蔣示吉医宗說約

江文通集 菅原長親卿讀本

慵齋叢話 松岡玄達手写

三石山痘治弁班抄錄 同上

怡顏 齋圖書

朱字

西疇常言 樂城遺言 東谷所見

合一冊 嘉靖本

写本濟人宝笈三卷 清劉暎之著

宝曆八年源電跋

万聞集 親康喜庵筆

○瑠璃壺 半井友竹寮治秘方 仮名方書也

妙術遺塵抄 醍醐殿家書

三宅澹庵克己篇 手書己藁

慈幼方

医心方卷廿二 岡本越中守 半井伝来本

11ウ

11オ

合香方 為宗筆 薰物□類抄ニ似タリ  
奥ニこの方ともハ姫御前にまいらする也

医家萃覽 九卷十一部

医經小学 寿親養老書 怪症奇方

応急良方 医学要数 医学碎金

医学権輿 ○海上仙方 香奩潤色

軒轅治病秘法 医学便覽

竜木論 葆光道人本

萬曆乙亥歲春三月吉日王問序

押小路大内記

一代要紀五冊 古写本

日本紀略 古写本

天台山坊外志六冊

崇蘭館本

周易經注本 卷子改摺本

上下經 引首共一行

第七 繫辭

第八末

本云永仁元年十一月十七日点了 朱書

同廿一日点畢 墨書長英

第九 說卦

第十 略例

又 古鈔 上下經六卷

又 永正六年六月三日終書写之 即加朱墨訖 給事中

12ウ

12オ



清原朝臣為

以証本校正了

又 活字附積音重意重言本

正平無跋本論語

又 学古神徳本

又 正文本 泉南本ノ祖ナリ

永正清家点本

○仁齋直指二十六卷 環溪書院本

小児方五卷 其他ナシ

○清人抄本三因極一病源論料 二帙十卷

宋青田鶴溪陳言無撰編 後字汪天一録

春秋経伝集解 第二第三兩軸

以宝寿院贈三品良賢法名常宗御自点本加朱墨訖

侍従三位入道清原朝臣為俗名宣賢 法名宗心 号環翠軒

宋槧漢書 与求古本同

大徳正徳補刊 中間脱頁 天文補写

跋二天文七稔戊戌九月十七日 善恵山人四十九齡

善恵軒 每冊墨印

小字宋本漢書

列伝一至四

五至八

廿六廿七

廿八至卅一 五十五至五十七上

五十七下至五十九

六十至三 六十四上下

六十五六上下

六十七八 六十九上中

六十九下七十

右十二冊 十二行廿二字

叙伝第七十卷下

連功郎新袁州萍郷県主簿主管字事江泰校正

後漢書 小字宋本 十四行廿五字 全廿五冊

叙目一二一冊明人補写 三四五六同上

宋槧広韻

即沢存堂重刊元本与昌平蔵吉氏家蔵同而紙

摺稍精

昌黎先生文集宋本 本集四十卷 全八冊

門人李漢編并序 外集十卷

文録序 天水趙徳

年譜跋元豊七年十一月十三日汲郡呂大防記

目錄 每卷有金沢文庫記

資治通鑑綱目元版

歲在上章敦祥孟夏 魏氏仁実書堂新葉

○素問朝鮮本 五六補写

附運氣論奥

証類本草 宗文書院本

序例 目錄 十一 十二 十六 卅 合六冊

心印紺珠経 嘉清本

瑞竹堂経験方十二卷 元版 三冊

十四行廿三字

14才

14ウ

13才

13ウ

鍼灸資生經 有弘治甲子孟夏劉氏安正堂重刊木記

七卷末 弘治甲子歲孟冬吉  
京兆劉氏安正書堂

經驗秘方一卷 恒東居士張子麒著

正德甲戌都縮序 朝鮮人作凶版

袖珍方 朝鮮版

古鈔養生月覽一冊

元版局方 叙目一缺

卷五末木記

臨江新喻吾山錢氏  
丁未春月校正梓行

葛氏肘后方

陳繼儒序 段序 九行廿二字

葛僊翁肘後備急方

晉丹陽葛稚川著 明虎林  
版心ニハ内科秘方ト題ス

胡遵化孟晋甫閱  
葛成緯静源甫校

鄭天沢局方 二部アリ

南宋版古文尚書孔伝 (善恵軒)

序十行十八字 本文十二行廿四字 注廿八字

每卷末附音釈

第一 一冊 第七存五頁 以下補古写  
第二 一冊  
第三 一冊  
第四 一冊  
第五 一冊  
第六 一冊

宋本増修寶客接談要覽六卷一冊

宋代ノ用文章ナリ 八行十六字

普門院 (善恵軒)

宋本楽邦文歌 四明石芝沙門宗曉 編次五卷

普門院 (善恵軒)

附楽邦遺藁一卷 共六以冊

串雅内編

朱文 序初二印ス  
好古 敏求 朱

古卷本史記 四軸

愛説 奇書 朱総目初

五帝本紀 周 秦 光武

正和五年 惟宗康俊筆

古卷本晋書

礼志

清原経賢手書卷本大字章句

遍照昔揮性靈集十卷

元文年間跋アリ  
弘安年間跋アリ

長寛二年勝憲書本

内一卷 桜町成範書本

羅漢講式

建保三年正月廿四日亥時於拇尾草了

沙門高弁

御薬院方 荻野台州藏

外台秘要方 宋本 五冊

天保壬寅十月廿四日於仁和寺宮御室賜拜覧

○医心方

一 八十二葉 五 九十

六 三十一 七 三十七

九 五十二 十 五十四

十一 廿四、十七 廿九、  
廿 四十、廿三 二十二、  
廿五 四十七、

卷附無之分

十三葉 九、三十五、  
廿六、廿七、三十、  
廿四、十二、廿五、  
十二、廿三、  
合廿二包

太素

卷三傷腫 卷八余則  
卷九任脈 卷十一輸穴  
卷十五色脈診 卷十九設方  
卷廿三九鍼之三 卷廿四補  
卷廿五傷中 卷廿六寒熱

医聖書院

鼎雕徽郡原板合併大觀本草炮製六卷二冊  
錦城 紹錦 徐三友 校正  
閩建 雲齋 鄭世魁 繡梓  
萬曆癸卯春月書林  
宝善堂鄭雲齋繡梓

卷第三

百々陸奥守 小春二十□<sup>レ</sup>日与浦野保生院同觀

医墨元戎 嘉靖本十冊 紙刻俱勝  
撰生蒙妙方

目錄後木記

嘉靖四十一年七月望日  
江西政司 左布政使姚一元 校刊  
右布政使王遵

朝鮮本寿親養老新書 四卷三冊  
養生主論 明板 比曲直瀨本界格稍高 然板式恰似  
潔古脈訣三冊 元板

元版百一選方 与細川氏本同而佚序文

朝鮮版神応經 整板

卷末墨書意 安法眼子息清江齋附与于予也 淨算

汪濟川刊本注解傷寒論

衛生宝鑑

予在京師觀此書三本 一在崇蘭館 一在医  
聖書院 一則此本 而医聖書院本為第一

俱同刻也

痘診玉隨

婦人良方 朝鮮本第一第二補寫

又 熊氏補遺本

天順八年甲申孟夏  
龜峯熊氏種德堂刊本

耆婆五藏經上下卷一冊 古写本 有図

文祿四<sup>乙</sup> 年初春中旬 宗玄

本文与拙藏本正同

山居録古易簡方十二卷一帙

覺岸劉思敬輯 本草附方摘出ノ書ナリ

本草纂要十二卷 錢塘医士竜潭方穀著

嘉靖乙丑朱孫炎撰序云、吾杭竜潭子、方氏、名

穀、邃医学、有声于時久矣

洪参岐医衡六卷

晋翼上官鉉玉之甫撰

痘疹大全誠書 嘉興談金章心揆著

無卷数、以天地人分三集、雍正壬子栞本

本草单方十九卷 繆仲醇著 与彙聚单方相類

經驗濟世良方十一卷 閩希陳仕賢輯

有浅草文庫印

(北里研究所東洋医学総合研究所)

19ウ

19オ